

午後7時00分 幹事が開会を宣言

●本日は、4月からの取り組みとして、テーマ部会に参加される人達も会議場に入られているが、前半は協議会を傍聴願ひ、後半テーマ部会を開催することを説明、協議会参加者14名で議事を進行した。

●幹事からの報告

協議会以前に受け入れた利用申請書が一件あったことを説明。(立つ瀬がある課主催 長久手ピクニック)

●ステーションからの報告

4月入場者数 1,756名 (3月の入場者数1,908名) 午前49% 午後42% 夜9%  
小校区 西71% 北10% 南10% 東1% 長4% 市3% 長1%  
年齢 大人57% 子ども24% 未就学児童 14% 中高 7% 大学1%  
傾向的变化見受けられない事、問題点は特に無いとの報告あり。

●4月協議会以前での事務局への依頼事項について。

★利用申請書提出の時利用料免除の申請を書かなければならない二度手間をワンタッチで書ける書類にして欲しいとの申し入れについてどの程度作業が進んでいるかとの質問を行ったところ、現状では方法が見つからず、引き続き検討すると事務局より回答あり。

★テーマ部会の展開は、5月の協議会に登録団体の長を招聘することで端緒を切った。

★共生ステーションの活動チラシの必要性を3月4月と述べて来たが、何らかの具体策をとれたかとの質問に対し、ステーションの機能が充実して来たことおよび、現在行っているプログラム、予定プログラムを西小地区の回覧板として回覧中であると回答を得た。今後の展開については、毎月出すという予定ではなく、知らせるべきことがまとまった時、自治会回覧を利用しようという予定である。

★「西 ふらっと小屋」のかんばんは、5月中～下旬に完成予定であるとの説明あり。

●実施されたプログラムの状況につき、主催者からの説明があった。

★タッチボクシング：2日間で8名の参加者。参加者からは好評であったので継続を計画したい。

★飛行機作り：3月に14名、4月に6名、5月に6名を予定。主催している側も生きがいを感じながら役に立っていると自負している。

★ソバ作り：既に3回を実施、2回は無料とした。今後は6月1日火曜日は一般向け、3日はそば打ち講習をやる予定。利用客からは好評である。3回目は有料としたがネギを忘れた。

★木曜の学習サポート教室：毎週木曜日午後4時からが浸透して来ており質問を用意して参加する子どもまで出現している。手応えを感じている。全体の雰囲気と解け合っている。

★火曜日の健康体操は毎回20名を超える参加者を得ており、特に説明の必要がなかった。

幹事から

●本日特に協議会で取り上げてほしい議題の有無を問うたが、提案はなかった。

◎本日協議会で取り上げてほしいまたは説明を行いたいプログラムやイベントがあれば申し出てほしいとの問いかけに、さとうゆみさんが、パブリックビューイング（ワールドカップ）は第一戦は許可されているが、第2戦、第3戦は、午前5時からの開始となるが共生ステーションの利用は可能であるかとの質問がでて、審議に入った。

時間外の利用については、コミュニティにかかわるグループ（防災会）の利用実績があるが、プログラム申請のグループに時間外の利用を認めれば、歯止めが利かなくなるという意見が大半を占めて、本件を否定した。

次に会議室利用登録申請の審議を行った。（結論は、L 許可、P保留、N拒絶）

~~~~~  
団体登録

- ★子育てママさん・アロマサロン  
虫よけもできる 日焼け止め L02.05（一回のみ許可で様子見）  
スプレーを作る会
- ★おうちごはん研究会「夏を元気に  
迎える餃子楽会 L02.05
- ★ながくてピクニック L02.05
- ★点字体験コーナー TENTEN L02.05
- ★工作教室 L02.05
- ★愛eyeクラブ L02.05
- ★ステーションしゃべり場グループ N02.05（協議会にオブザーバー参加を促す）
- ★要約筆記長久手 L02.05

~~~~~  
◎8時10分協議会を中断しテーマ会議のテーブルに移り30分ほど自己紹介ほか、テーマ部会の進め方を議論してもらうこととした。テーマ部会のまとめ役について、子育て一佐藤しのぶさん、いきがい一吉田初美さんをお願いし、ケアは渡辺が引き受けることにした。

協議会の再開

- ★8時45分、テーマ部会を終了し、各テーマごとのまとめ役から結果の発表があった。  
ーこそだてテーマ：安心できて利用できる場所の利用時間とくに中高生の夜間の勉強のための開館時間を変更するように提案していく予定。  
ーいきがいテーマ：参加グループが多く自己紹介程度で終わってしまったが、引き続きテーマ会議を開催していく予定。  
ーケア：福祉課のみまもりマップ、社協のみまもりサポーターの取り組みも、個人の情報を管理する方向なので、住民みずからはできない。公の立場からは探していく方策がまだ見つからないなど問題が多いが、共生ステーションは、ケアの視点から良い取り組みの糸口となるのではないか。

全てのテーマの話し合いの結論を共有したので本日の目的を終えた。

9時00分幹事は閉会を宣言した。